

社会に出てからも、 大学の時にできた友達や、 お世話になった先生たちとの交流を忘れずに 大学時代の思い出を大切にしたい。

Profile

1993年12月7日生まれ。
長崎県新上五島町出身。
長崎大学 環境科学部を卒業後、2016年にフジテレビへ入社。現在は、「めざましテレビ」のエンタメキャスター(月・木曜)や「Live News days」(日)にキャスターとして出演。「ワイドナショー」「日曜報道 THE PRIME」「Live News イット!」などのナレーションも担当している。

©フジテレビ

永尾亜子アナウンサー
スペシャルインタビュー



フジテレビ
アナウンサー
永尾亜子さん

環境科学部(2016年卒)

NAGAO ako

きっと誰でも、 特別なことや 特別な経験がある

永田 / 永尾さんはどのような学生時代を送っていましたか?

永尾 / 正直、私はすごく特別なことはしてなくて、毎日授業を受けて、サークルに行って、友達と遊んだり、バイトをしたり...ごく普通の大学生活を送っていました。ただ行動力はあったと思います。大学3年生の時、アナウンサーになろうと決めてから、福岡のアナウンススクールへ通ったり、町内や市内、九州内のイベントの司会をしたり、思い立ったらすぐ行動していました。

永田 / 3年生の時にアナウンサーになろうと思ったとのことですが、きっかけはありましたか?

永尾 / 子どもの時から、人前で話しをすることが好きだったので高校生まで、放送部に所属して

いました。ただ、高校生の時にアナウンスの大会で賞をいただき、自分の中で一区切りついたこともあって、大学では他の事をやるつもりでアカベラサークルに入り、アナウンス以外の事をしていました。でも、就職活動を始めて、自分は何になりたいのかを考えていたとき、テレビを見ている自分がアナウンサーの姿を目で追っていることに気づいて、「やっぱりアナウンサーになりたい」と思ったんです。

永田 / 永尾さんは、「特別なことはしていない」と言われましたが、ご自身が思うフジテレビのアナウンサー試験を通過できたポイントはあるですか?

永尾 / 人と違う所を見つけて、そのどういうところが魅力なのかしっかり自分の中で分析してアピールできたことかなと思っています。きっと誰でも、他の人から見ると特別なことや、特別な経験をしていると思います。でも、自分ではそのことに気が付いていないことが多いのかもしれない。例えば、私の場合、高校卒業までの17年間はずっと上五島で生活していたことや、長崎大学出身のフジテレビアナウンサーがいなかったのが、長崎大学への入学動機や長崎大学での学生生活さえ、特別なこととしてアピール出来ました。

自分のやったことに対しては自信を持つ

田中 / 私は、部活の大会で不安でいっぱいになったことや、緊張することが多かったのですが、永

誰しも自分では気づいていない魅力があるのかもしれない。僕も探してみようと思います!

環境科学部1年

永田拓巳

NAGATA Takumi

尾さんはそのような場面でも自信がありましたか?

永尾 / 自信家というわけではないですけど、自分がやったことに対しては自信を持てようと思っていました。自信を持っていないのは、努力不足な面や、もう少し出来たのになっていう思いがあるからだと思うんです。勿論、たくさん頑張っても自信が持てない人もいると思うけれど、そんな風に思う必要はないと考えていて、自分がやったことというのは、事実として残るわけですから、結果的にダメだったとしても「いや、自分はここまでできた、頑張ったんだから」と、自分がやったことに対しては自信を持つようにしています。

田中 / テレビの中の永尾さんは堂々としてかっこいい印象があるのですが、そのような思いをお持ちだったからなんですね。

永尾 / 実際には不安な中で仕事をすることもありますし、本当にこれでよかったのかなともあります。でも、不安を少しでも減らせるように日頃の情報収集や準備・トレーニングは怠らない

永尾さんの行動力に憧れます。私もいろいろな事に挑戦していきたいです!



環境科学部1年

田中藍子

TANAKA Aiko

ようになっています。

永田／永尾さんがアナウンサーとして心がけていることはありますか？

永尾／たくさんありますね。仕事にもよりますが、「出過ぎないこと」ですね。アナウンサーはあくまで相手を引き立てるという役割なので、いかに視聴者の方に分かりやすく伝えるか、インタビューの仕事ではおもしろさを引き出せるかを心がけています。

言い換えれば視聴者の気持ちを考えることですね。ニュースを読んでいて失敗するのは、間違えないようにとか、自分が上手に思われたいとか、自分への気持ちがあるからだと思うんです。そうではなく、テレビの向こうにいる人たちのことを考えて、いかにして伝えるかを心掛けていけば、お

のずと伝わる読み方が出来るし、より良いインタビューができるのかなと思います。

大学時代の人間関係を大切にしたい

田中／最後に、卒業生へのメッセージをお願いします。

永尾／社会に出ると責任が伴って、自分一人の問題に収まらないこともあります。つらいことや悩むことも必ずあると思いますが、そういうときも前向きに自分らしく行動できたら、自然とチャンスが

訪れるものです。ですから、いつでも自分を忘れずにいて欲しいと思います。あとは、困った時や大変な時は自分だけで考えずに周りの人に相談することがすごく力になると思うので、いつでも相談できる人間関係やコミュニティを持つことが大切なのではないかと思っています。

社会に出てからも、大学の時にできた友達や、お世話になった先生たちとの交流を忘れずに大学時代の思い出を大切にしたいです。

永田／永尾さん、今日は貴重なお話ありがとうございました。

長崎大学出身の先輩たち



下村 脩 SHIMOMURA Osamu

(1928~2018)

2008年ノーベル化学賞受賞

薬学部(旧:長崎医科大学附属薬学専門部)

※掲載五十音順

企業TOP

大日本コンサルタント

代表取締役社長
新井伸博
工学部



上原成商事

代表取締役社長
上原晋作
経済学部



西部ガスホールディングス

代表取締役
副社長執行役員
太田 良
経済学部



カネミツ

代表取締役社長
金光俊明
工学部



双日九州

代表取締役社長
香田篤志
経済学部



ヴィレッジヴァンガード コーポレーション

代表取締役社長
白川篤典
経済学部



福岡中央銀行

代表取締役頭取
古村至朗
経済学部



ひびきエル エヌ・ジー

代表取締役社長
村瀬廣記
工学部



活躍中の先輩たち

秋野公造

医学部
参議院議員

草場道輝

水産学部
『週刊少年サンデー』で連載中の長大水産学部に舞台にした漫画『第九の波濤』の作者

国光あやの

医学部
衆議院議員

中村明俊

教育学部
『聖水』で第124回芥川賞を受賞。ペンネームは青来有一

福地茂雄

経済学部
アサヒビール社長・会長、日本放送協会(NHK)会長などを歴任

藤原謙次

経済学部
ローソン、ファンケル、カカオコム、サンドラッグなどにおいて重要ポストを歴任

渡辺 航

教育学部
『週刊少年チャンピオン』で連載中の漫画『弱虫ペダル』の作者

第一線で活躍する先輩に刺激を受けました。私たちがこれから頑張ります！

